

## 総合診療科後期臨床研修プログラム

### 1. 概要と目的

佐久総合病院は、「農民とともに」の理念の下に、「農村医学」を生み出し、また広く第一線の診療所から高度専門医療までを担うことで「地域医療」に貢献してきた歴史がある。そのような歴史、文化を背景とする「佐久」というフィールドのなかで、総合する専門医（generalist）」の養成を目的とする「総合診療科後期研修プログラム」を開設した。ここでいう「総合する専門医（generalist）」が活躍する領域には、現在大きく以下の三つ含まれるものと考えられる。①総合内科（general internal medicine）②プライマリーケア③家庭医療である。本プログラムは、上記の三つの領域を目指す医師に対して、その共通部分である「総合する専門医（generalist）」としての考え方とその具体的手法を習得してもらうことを目的として設定された。

### 2. 目標

本プログラム終了時には、①総合病院の総合内科医として、②中小規模病院の一般内科医・プライマリーケア医として、また③地域診療所のプライマリーケア医・家庭医として働くことができる基本的な能力が身についていることを目標とする。

### 3. 研修内容：研修は以下の4本の柱を中心に行う。

- ①佐久総合病院総合診療科研修：佐久総合病院総合診療科に所属し、総合診療病棟、総合外来（救急車対応を含む）、地域ケア科（在宅医療担当部門）往診、検診活動、救急当直業務を中心に行い研修する。期間は1年間を目途とする。
- ②佐久総合病院小海分院研修：佐久総合病院小海分院（病床数100）にて、病棟、外来、往診、当直、施設（老健、特養）回診等を行い研修する。期間は1年間を目途とする。
- ③地域診療所研修：佐久地域にある農村部の「国保診療所」において、保健・医療・福祉のネットワークの担い手として「農村医療」「地域医療」の実際に触れ、その実践を通して「診療所医師」に必要な能力を習得する。研修期間は、研修医の希望により設定する。また、佐久総合病院本院での研修後、②の小海分院研修との組み合わせで「診療所」に特化した研修を行うことも可能である。
- ④ローテーション研修：佐久総合病院での内科専門科、救急（ICU）を中心としたローテーション研修を行うことができる。また、その他の専門科（generalistに必要な）の研修や他の関連病院での研修も状況・希望によっては行うことができる。

### 4. その他

佐久総合病院総合診療科は、研修医教育に積極的に参加している。よって、後期研修医は、初期研修医を含め医学生や看護学生・看護師教育にも参加することで、医学・医療における教育の実際に触れまたその考え方と手法を習得することも目標とする。